

# 令和4年度 第1回諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議 会議録

## ○ 日 時

令和4年7月1日（金）午後2時00分～3時40分

## ○ 会 場

諏訪市役所 3階 302会議室

## ○ 出席者

<諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員>

岩波寿亮委員、松澤卓也委員、茅野昭一委員、宮原渉委員、  
櫻井哲朗委員、牛山久仁彦委員、増田哲委員、林道明委員、  
佐久秀幸委員、有賀仙太郎委員、金子ゆかり委員

<事務局>

後藤副市長、前田企画部長、柳平企画政策課長、下澤企画政策係長、  
前田企画政策係主査、名取企画政策係主任

<担当課>

宮坂商工課長兼産業連携推進室長、高橋工業振興係長、茅野産業連携推進係長、  
宮阪生涯学習課長、小口博物館館長

## ○ 欠席者

<諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員>

中嶋博美委員、宮坂友子委員、宮坂哲也委員、山崎三千代委員

## ○ 会議概要

- ・直近の人口動態について報告。
- ・地方創生交付金事業について、有識者会議としての効果検証結果を確定。
- ・新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金事業について報告。

## ○ 会議録（※委員名のアルファベットは「資料4」と対応）

### 1 開会

（前田企画部長）

- ・令和4年度第1回諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議を開催する。
- ・委員総数15名のうち、出席者は現在10名、1名遅れての参加となる。諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱に定められている、委員の半数以上の出席があることを報告する。

### 2 市長挨拶

（前田企画部長）

- ・諏訪市長金子よりご挨拶申し上げます。

（金子市長）

- ・大変お忙しい中、今年度第1回の諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議にご出席いただきありがとうございます。
- ・新型コロナウイルス感染症が2年半続いてまいりました。その間、この会議もなかなか開けないこともございましたが、皆様には書面協議等にもご協力いただきました。重ねて御礼申し上げます。
- ・まち・ひと・しごと創生有識者会議は、地方創生推進のために、広く有識者の皆様から意見をいただくため設置している。新たに委員に就任をいただいた方々においては、お引き受けいただき誠にありがとうございました。
- ・国も首相が替わり、内閣が変わると言葉の表現等も変化してくる。地方創生というメッセージから、最近ではデジタル田園都市国家構想と変化し、地方においてもDXが進められている。
- ・諏訪市では諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略を第六次総合計画と一体化した。委員の皆様には、引き続きご助言等いただきたい。
- ・本日の会議は事業計画に令和3年度が含まれる地方創生交付金事業の効果検証。事業の効果を検証することで、今後につなげていきたい。委員の皆様からは、忌憚のないご意見をいただきたい。

### 3 自己紹介

#### (前田企画部長)

- ・交代となった委員の紹介をさせていただく。(※委嘱状は机上配布)
- ・多くの皆様は引き続きとなるが、簡単に自己紹介をいただきたく存じます。  
(※各委員自己紹介後、副市長及び事務局自己紹介)
- ・なお、副会長については任期中の交代のため、前任の高野委員から引き続き増田委員にお引き受けいただきます。

### 4 報告事項

#### (1) 直近の人口動態について

##### (金子ゆかり会長)

- ・それでは議事に入る。
- ・報告事項「(1)直近の人口動態について」、事務局から説明をお願いします。

##### (名取企画政策係主任)

※人口動態資料に基づき説明

##### (金子ゆかり会長)

- ・この内容について、ご意見等ありますか。
- ・自然減は全国的な傾向だが、諏訪市の場合、出産適齢期の女性人口が減少していることが大きな要因だと見受けられる。

### 5 協議事項

#### (1) 地方創生交付金事業の効果検証の概要について

**(金子ゆかり会長)**

- ・それでは協議事項に入る。
- ・協議事項「(1) 地方創生交付金事業の効果検証の概要について」、事務局から説明をお願いします。

**(下澤企画政策係長)**

※資料1に基づき説明

**(金子ゆかり会長)**

- ・この内容について、質疑等ありますか。
- ※質疑等なし

**(2) 地方創生交付金事業の効果検証**

**(金子ゆかり会長)**

- ・次に「(2) 地方創生交付金事業の効果検証」です。
- ・皆様には事前に確認していただいているが、資料2及び資料4を基に担当課から事業の説明をする。

事業1「モノづくり集積地SUWAのヒトづくりプロジェクト」

**(金子ゆかり会長)**

- ・事業1「モノづくり集積地SUWAのヒトづくりプロジェクト」について、担当課から説明をお願いします。

**(宮坂商工課長、高橋工業振興係長)**

※対象事業について説明

**(金子ゆかり会長)**

- ・この事業について、事前に委員の皆さんから効果検証等をいただいているところですが、改めてご質問等ありますか。

**(N委員)**

- ・3年くらい委員を続けてこの取組を理解してきたが、テーマが広く漠然と色々やっけてはいるが、ゴールが分からない。1番は人材不足を確保することだと思う。最初に人口動態の報告を受け、人口が減っていることが分かった。女性人口の減少の報告があったが、男性も同じだと思う。平成20年頃がピークで、私もその年代。私のときは大学入試も2.5倍くらいの倍率で、バブルを過ごし、あちこちに就職している。私の業界でもそうだが、45歳以下の人材がいない。採用募集しても来ない。クライアントからも同じような話を聞く。あと5年経ったらどうなるのか、という話をする。そのような中で、この事業については興味をもって見てきたが、結論として、この事業は製造業についてだが、人材の確保ができたのか、増えたのかを聞きたい。

**(高橋工業振興係長)**

- ・求人倍率は回復してきている。求人倍率が上がるということは、企業にとっては人材確保が難しいということで、新卒の確保が難しいという話を聞いている。諏訪市では年4回景況調査をしており、まだ今年度第1回の結果が出ていないが、その結果を施策に反映して

いきたい。

**(金子ゆかり会長)**

- ・委員のご質問についてだが、この事業のみではなく、あらゆる施策によって人口減少等の課題を解決していくという中の一つの事業だにご理解いただきたい。
- ・今朝、高校の求人解禁になり、諏訪実業高校にハローワークと労務対策協議会とともに訪問した。子どもの数も減り、就職する学生も減っている状況である。

**(L委員)**

- ・今、各企業は求人非常に苦戦している。当社も製造業であるので、厳しさを肌で感じているところであるが、このプロジェクトに関しては、非常に効果があったと思う。当社からもこのプロジェクトに参加した社員がいるが、社員の話を聞くと大きく二つ効果があったと思う。
- ・一つは、非常に学びがあったこと。また、異業種の交流ということだけでも、他社の技術力や自社の強みを分析してロケットを打ち上げるために力を合わせ、PDCAを行うことは非常に学びがあった。参加した社員は変容して帰ってきた。
- ・もう一つは、学生に対してのPR。ロケットプロジェクトは多くの学生が知っていた。私も採用窓口にいるが、ロケットを作ってみたくて応募します、という学生が多かった。当社でロケットを作っているわけではないが、それをきっかけにものづくりを知ってもらうことが当社としては非常に有り難かった。当社としては、このロケットプロジェクトを通じて2名採用につながった。その実績を肌で感じているので、こういった話題そのものに価値があると私は感じている。

**(金子ゆかり会長)**

- ・この事業について、担当課の評価として、事業効果は「③地方創生に効果があった」、今後の方針は「②事業内容の見直し(改善)」となっており、委員の皆さんからの効果検証結果とほぼ一致している。これを有識者会議としての効果検証結果としてよいか、挙手を願います。

**(各委員)**

※全会一致

**(金子ゆかり会長)**

- ・ありがとうございます。それではこれを有識者会議としての効果検証結果とします。

事業1 「モノづくり集積地 SUWA のヒトづくりプロジェクト」

事業効果 : ③地方創生に効果があった

今後の方針 : ②事業内容の見直し(改善)

事業2 「Let's Go 「大人心くすぐる」使ってみたくなるブランドづくりプロジェクト」

**(金子ゆかり会長)**

- ・事業2 「Let's Go 「大人心くすぐる」使ってみたくなるブランドづくりプロジェクト」について、担当課から説明をお願いします。

**(宮坂産業連携推進室長、茅野産業連携推進係長)**

※対象事業について説明

**(金子ゆかり会長)**

- ・この事業について、質問等ありますか。

**(M委員)**

- ・このデザインプロジェクトについては、当社の社員は今の仕事を外からの目線で見てもらおうということで、時間をかけて取り組んだ。諏訪東京理科大学の学生は、工業などには詳しいのだが、マスコミについてはほとんど知らないという中で、当社の社員と何度もディスカッションをして、彼らなりにマスコミを理解して映像を作ってくれた。多くの若手社員が皆で知恵を出し合ったという点について、今までにない取組で大変嬉しく思った。もっと多くの企業に参画してもらって、自分の企業を違う視点で見てもらおうような取組になればもっと良かったと思う。

**(F委員)**

- ・産業連携補助金の事業の状況を教えてほしい。

**(茅野産業連携推進係長)**

- ・資料12ページ、諏訪後山ブランドプロジェクトについて、農産物が品質は良いが周知されていない課題があり、八ヶ岳でECサイトを運営し地域ブランドをPRしているハチカッテという事業者と組んで、ブランド品はブランド品として売っていこうという取組をしている。地域の人々の意識も高まり、順調に推移している。
- ・13ページ、jigujiブランドプロジェクトについて、新聞報道にあったとおり、様々な製品の完成が進んでいる。また、新たに、盛谷製麺との製品開発も進んでいる。
- ・14ページ、諏訪茶道・観光等活性化プロジェクトについて、昨年度取り組み始め、今年度は動画作成やおぼんの製造が進んでいる。
- ・15ページ、SUWAローカルメディアコラボプロジェクトについて、参加された事業者が移住者の方々が中心で、諏訪は良い所なのでもっと移住者が増えてもいい、発信力が弱い、という課題を挙げていた。そこで、移住者の方々が先頭に立って、諏訪の魅力を発信できるページを立ち上げて、記事も作成されている。ご覧いただきたい。
- ・16ページ、アーティストスクエアプロジェクトについて、地域を担う新たな作家・アーティストの展示場所の確保ということで、ガラスの里の一面に様々なアーティストが展示・即売できるスペースを設置した。昨年度完成し、様々な方が展示している。

**(金子ゆかり会長)**

- ・多岐にわたっているように見えるかもしれないが、地域をブランドとして売り出していくための一括りの取組で、関わる方々が自信をもって、また、市民がこんな素晴らしいことがあるのだと思うことができ、そのことによって移住や社会増につなげる、といったところの一面を担ってきた事業である。お陰様で、様々なアワード等をいただくことができ、大変有り難かった。
- ・この事業について、担当課の評価として、事業効果は「①地方創生に非常に効果があった」、今後の方針は「③事業の継続」となっており、委員の皆さんからの効果検証結果とほぼ一致している。これを有識者会議としての効果検証結果としてよいか、挙手を願います。

**(各委員)**

※全会一致

**(金子ゆかり会長)**

・ありがとうございます。それではこれを有識者会議としての効果検証結果とします。

事業2「Let's Go「大人心くすぐる」使ってみたくなるブランドづくりプロジェクト」

事業効果：①地方創生に非常に効果があった

今後の方針：③事業の継続

事業3「歴史・文化の学びを支える博物館整備事業」

**(金子ゆかり会長)**

・事業3「歴史・文化の学びを支える博物館整備事業」について、担当課から説明をお願いします。

**(宮阪生涯学習課長)**

※対象事業について説明

**(金子ゆかり会長)**

・この事業について、質問等ありますか。

**(M委員)**

・事業効果を③と評価したが、一段階上の評価へ変更したい。観光と工業と、もう一つやるとすれば歴史・文化だと思う。この地域の中で、地域の歴史をきっちりと検証しているのは諏訪の博物館だと思っている。諏訪を好きになるには、この地域にどんな歴史・文化があるのか、子どもたちにもっと浸透していけばいいと思う。

**(E委員)**

・上社の近くにある博物館ということで、仕事柄通ることがあるが、街場だけでなく、西山の方の発展に貢献していると思う。

**(F委員)**

・諏訪地域は他の地域にはない歴史・風習があり、この事業は非常に有意義な事業だと思う。また、オンライン講座を見せていただいたが、非常に興味深かった。いつでもどこでも講座を見られることは大きなメリットだと思うので、対面での開催が可能になってもオンラインでの工夫を続けてほしい。

**(金子ゆかり会長)**

・この事業について、担当課の評価として、事業効果は「③地方創生に効果があった」、今後の方針は「③事業の継続」となっており、委員の皆さんからの効果検証結果とほぼ一致している。これを有識者会議としての効果検証結果としてよいか、挙手を願います。

**(各委員)**

※全会一致

**(金子ゆかり会長)**

・ありがとうございます。それではこれを有識者会議としての効果検証結果とします。

事業3「歴史・文化の学びを支える博物館整備事業」

事業効果：③地方創生に効果があった

今後の方針：③事業の継続

**(金子ゆかり会長)**

- ・全体を通じてコメントをいただきたい。

**(C委員)**

- ・良い意味で、諏訪市の事業であるが、やっているのは諏訪地域の事業だということを感じた。

**(D委員)**

- ・委員になって、初めてこのような事業をやっていることを知った。今後もしっかり見守っていききたい。

**(G委員)**

- ・様々な良い事業をやっていて、また、先ほどのオンライン講座は22,000回の視聴があったということすごいと思った。

**(H委員)**

- ・気持ち的にはもう少し上の評価をしたいが、どうしてもKPIが評価基準なので、コロナの影響もあって下げざるを得ないかなと思う。神奈川県もやっているが、ことごとく下がったので今年は文章での評価とした。コロナの影響を受けている中で、大変健闘されていると思う。

**(3) 新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金事業について**

**(金子ゆかり会長)**

- ・こちらについては、事業や担当課が多岐にわたるため、各担当課において行った効果検証結果について気づいた点などがあればご発言いただきたい。

**(柳平企画政策課長、名取企画政策係主任)**

※事業概要等について説明

**(金子ゆかり会長)**

- ・ただいまの説明について、お気づきの点などあればお願いしたい。

**(各委員)**

※質疑等なし

**(金子ゆかり会長)**

- ・以上で本日の議題は全て終了となる。進行を事務局へお返しする。

**6 その他**

**(前田企画部長)**

- ・事務局から事務連絡をさせていただく。

**(名取企画政策係主任)**

※事務連絡

## 7 閉会

### (前田企画部長)

- ・閉会の挨拶を、増田副会長お願いいたします。

### (増田哲副会長)

- ・本日はご参加ありがとうございました。私自身、今週から諏訪に赴任し、何も分からず参加させてもらったが、大変勉強させていただいた。
- ・コロナ禍で様々な困難があり、様々な工夫があったと思うが、効果検証を行った3事業に携わった皆様には敬意を表したい。
- ・地方創生は地方間の競争も激しくなっており、一層の創意工夫が求められる。産官学の連携が求められ、最近では、産官学金労言士と言われる。本日お集まりの皆さんは全ての分野からお集まりだと思うので、今後も専門的な見地から有意義なご意見をいただき、私もその一員になればと強く感じた。
- ・これで閉会とさせていただきます。本日はありがとうございました。

(閉会 15時40分)